

9月号

第439号

いっしん

令和3年(2021年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

限りなき
神のみ幸を
かかふりて
今日あることを
忘るるなゆめ

教祖様138年 教団独立121年 小倉教会布教136年 甘木親教会布教117年
安武松太郎大人70年 加治木教会布教70年…5月30日ご祭典が奉仕されました。



チャレンジカードが展示



金光様へわかばから花束の贈呈



第七十四回

少年少女全国大会

八月八日(日)ご霊地で、第七十四回少年少女全国大会が開かれましたが、岡山県の感染拡大予防の対策により、各地からの参拝はできないことになり選擇となりました。

わかば祭もご霊地の先生方はじめ在住・近隣の方々に任せられました。(ホームページ『金光教』で動画をご覧いただけます。)

わかば祭では、全教から寄せられました「まごころ運動」の「平和の折り鶴」や文房具などがお供えされ、加治木教会からの八〇七羽の折り鶴や文房具もお供えされました。

また、加治木教会の少年少女会員で取り組ませていただきました「チャレンジカード」も、七月中に教会に提出できた会員の分が、作品展示コーナー近くに展示されたそうです。(パレード、霊地夜まつり、キッズ・クラブト等常設行事の開設は中止となりました。)

第74回少年少女全国大会…P1～2 折り鶴系通し…P2 甘木親教会祈願祭…P3
加治木教会祈願祭…P4～5 沖縄からのおたより…P6 教会行事…P8

第七十四回

少年少女全国大会

教主金光様のおことば



このたび、第七十四回少年少女全国大会が、神様のおかげの中、多くの方々のお世話になって開かれ、有り難いことで

す。わかばの皆さんがここまで元気に過ごすことができましたことをお礼申し上げ、ともに喜び合いたいと存じます。神様は世界中のみんなが幸せになって欲しいとの願いをかけられています。幸せになるといふことは笑顔になるということです。神様から願われているお互いの命であることを大切にしながら、お育てをいただき、共々に世のお役に立たせていただけますようお願いいたします。本日はおめでとう申し上げます。

まごころ運動（少年少女全国大会に向け）

「祈りの折り鶴」糸通し

八月一日（日）月例祭後、第74回少年少女全国大会に向けて毎年取り組ませていただいています「まごころ運動」の「平和の折り鶴」の糸通しをさせていただきました。



た、信奉者の皆さんの祈りが込められた、

折り鶴は 807羽、
使用済み切手は 88枚、
使用済みカードは 2枚、
文房具（鉛筆）は 5点、
ありました。

また、

少年少女会員のみなさんは、チャレンジカードに五月から七月中旬まで取り組み、七月末までに教会に持ち寄せられた分は、御本部の少年少女全国大会で展示されました。

後日、少年少女会連合本部から、表彰状と記念品が届きました。

まごころのこもる取り組み、ご協力、有り難うございました。



甘木親教会

祈願祭

仕えられる

七月十七日(土)甘木親教会では祈願祭が仕えられました。

九州地方で仕えられる祈願祭は、だいたい七月頃ですが、今年この頃はコロナ禍の第四波と第五波の間で、感染者がやや減った時期でした。

そのため、出社教会からの参拝者も、感染防止対策に気を付けながらいくらか増えていたようでした。



ご祭典は、安武道義親先生ご祭主のもと、甘木親教会在籍の先生方十名でお仕えにられました。

ご祭主の祭詞では「大日本万国へ神のみかげを輝かし、一命をなげうち、金光大盛、お道大繁盛、恩師大繁盛のため深く尽くし、おろそかに退くことは致しませぬ」との、初代安武松太郎先生のお道に対する心願と、人の助かり立ち行くことを願われる内容が奏上されました。

また、ご教話では、七月十日仕え

られた小倉教会の祈願祭に併せて桂松平先生百五年祭・桂末子姫三十年祭のことについてお話し下さいました。

その中で「小倉教会の祈願祭の御用中桂真津子親先生より『祈願祭は九州のお祭りであります』また『祈願祭は本を大切にしてお祭りです』とのみ教えがありました。が、祈願祭は桂松平先生が教祖様・二代金光四神様のご恩に報いる御用として御本部大教会所ご建築ご成就を願われて始まったお祭りであり、そのように信心は本を大切にし、本を忘れないということが大切なところであります。」とお話しにられました。



弥生会館(第二参拝者席)

加治木教会

祈願祭

仕えられる

七月二十五日(日)東京2020オリンピック開会式の翌々日、加治木教会の祈願祭が仕えられました。

梅雨が明け、子供たちの夏休みが始まったものの、コロナウイルスデルタ株が国内でも確認されるようになった時期で、感染拡大に十分注意しながらの御大祭となりました。

前日の調理の御用は控え掃除のみとなり、お直会も購入したお弁当のお持ち帰りとなりました。

一日も早いコロナ禍の終息が願われます。

そういう日を迎えることができた時には、どのように喜びを現わし、末々のためにどういう点に重点を置いた信心を進めるべきか、今、シツカリと考え、心に刻み、神様に誓い、神様からご信用を頂ける信心になることができるよう努めさせていただかねばなりません。



梅木博光先生(多良木教会長)



《梅木博光先生の「ご教話」》

多良木教会長(要点のみ)

「病気のし損をするな」というみ教えがありますが・・・。

長女の所の初孫が二才になります
が、チャージ症候群という難病で産
まれました。

心臓の血管が細くて手術の必要が
ありましたがおかげでその手術は必
要がなくなりました。

また、鼻の穴が通ってなく体重が
四千グラムを越えないと手術ができ
ないということでした。また、口頭
軟化症ということで喉の皮膚が柔ら
かくて、上手く息を吸えない時があ
る状態です。

さらに、左側の顔面麻痺で筋肉が
動かず下がったようになります。

自分の身内に障害を持った子がい
るということは、み教えで聞いては
おりましたが、ほんとうに「大変だ
なー」と「大変」は違います。

一年後に鼻の穴を開けてチューブ
のようなものを入れる手術がありま
した。

また、喉のところに穴を開けて呼吸や栄養のためのチューブを入れていましたから、言葉がしゃべれないということもありました。今は、言葉を出す訓練のために、その喉の穴を塞ごうかというような段階です。

しかし、今はやっとパイプが取れ、つかまり立ちができ、口から離乳食が頂けるようになり、保育園に通えるようにもなり、おかげを蒙らせていただいております。

孫が一才の誕生日を迎えた時に、娘が書いていた文章ですが「生まれてきてくれてありがとう」と書いていました。

私はその文章を読んで「そんな気持ちでいてくれていて、有り難いな〜」と思い、私自身が助かったような気がしました。

「なんでこんなことに」という思いではなく「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちなのですか

住んでいます三重県から、多良木の方に事あるごとに一つひとつ連絡をしてくれ、お取次を願うようなことができ、甘木の親先生にも私から

ちくいちお取次を頂き、子供の病気を通して長女も神様に心が向かうことが出来るようになりました。

私たちには、そういうことをお届け申し上げる場があるということがなんと有り難いことかと思わせていただきます。

教内の中でも、自閉症やダウン症などの難病を抱えた先生もおられますが、ある先生は、お子さんがひどい発作や問題行動が起こって心の休まる時もないような時こそ「今は神様のおかげ授けの真っ最中、有り難いことだ」と受け取り、神様に心に向けて信心に励まれてあります。

良いことも悪いことも信心が進むことによって後々おかげになって行く、願ったことと反対の結果が信心を進めることにより、あとあとおかげになることを楽しみに信心をさせて頂かねばならないと思います。

おかげが目的でなく、親神様の申しお計らいを頂いて、親神様からご安心いただきご信用いただける信心にお育ていただいで行きたいものであります。



若婦人会



信徒会



信徒総代



青年会



婦人会

祈願祭
玉串奉奠
のようす

沖縄からの おたより

六月二十三日、沖縄県は「慰霊の日」を迎えました。

昭和二十年のこの日、沖縄での日米の組織的戦闘が終結し、日米両軍と民間人らを合わせて約二十万人が亡くなりました。

那覇教会では、六月二十二日に「南冥の塔」で慰霊祭をお仕えになられ、七月四日には三か所の慰霊塔を巡拝され、林雅信 教会長先生とご信者の皆さんで清掃活動と御祈念を仕えられました。

有蘭彰子さんも、参加させていただき、長女華はなさんが那覇教会の教会紙に作文を寄稿させていただきましたので紹介いたします。

「南冥の塔」
沖縄戦終盤の激戦地となった摩文仁の丘にあり、沖縄戦に米兵として参加した日系二世のヤマモトタツオさんが中心となって、一帯に放置されていた身元不明の兵士、住民の遺骨一万二千柱を収骨して建立された。



ありぞの はな

(小学二年生)

六月二十三日、糸まんしまぶににある「南めいのとう」で、いれいさいがありました。

お母さんとおにいちゃんときょう会のおじちゃんや先生たちと、おまいりしました。

天気は雨で、すべるかいだんとおりました。

おじちゃんに、「すべるからきをつけてあるいてね」と、いわれました。

「南めいのとう」は、どうくつがあつて、火えんほうしゃのあとがあつて、くらかったです。

せんそうは、わるいと思ひました。もう二どとないといいと思ひながらおいのりしました。



那覇教会教会紙
『天地』より転載

感 詠



教会長

どれほどにお礼とお詫び申すこと
忘れず心刻みておるか

七夕の飾りもうけし広前に
昨日にかわる明るさ添える

星空の天の川見てものがたり
添えし古来の文化ゆかしき

体力の十分戻ること遅し
そうも思える年賜りぬ

自粛して縮小気味なる記念祭
それはそれなり祈り込め行く

今出逢うことの中にも神(親)愛の
深き計らい悟らせたまへ

台風之余波の風吹き鉢植えの
花倒れぬか気をつけており

ある日の想い

〔矢野文枝〕



最近教会の周りも空き地だったと
ころに家が建つようになり、毎日ト
ントントンと賑やかな音が続い
て・・・、いいなあ、新しいお家だ
と、羨ましい気持ちと、仕事に來ら
れてある方々に、どうか今日も一日
怪我がありませんようにと、そおっ
と神様をお願いさせていただき、無
事にこの家が建ったら、住む人たち
が一生安心して生活ができればす
ようにと、お願いさせていただいて
います。

甘木親教会の前の親先生、安武文
雄親先生はお話の中でよく「隣に蔵
が建てば、自分は腹が立つようなこ
とではいかんぞ」と、よく仰言って
あったことを思い出します。

信心させていたたく者は、常に大
きな気持ちでおらせていたたくとい
うことがどれだけだいじなことかな
と思わせてもらいます。

あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) 親教会参拝日
- 8 (日) 多良木教会 祈願祭 11時
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●月例祭(天神堂) 併せて10時半
(大神様) 聖祭
- 13 (金) 大重家聖祭 10時(教会にて)
- 14 (土) 中村家聖祭 11時
- 20 (金) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●月例祭(天神堂) 共励会13時半
(乃排堂)
- 31 (火) 清掃御用 10時

九月のご霊神様のお立日

九月

- 中島時彦之霊神 昭和62・09・02
 - 平島信彦之霊神 昭和20・09・03
 - 前田満之霊神 昭和42・09・03
 - 庄村ミサ之霊神 昭和42・09・05
 - 桐野仲太郎之霊神 昭和10・09・09
 - 汰木スエ之霊神 昭和55・09・12
 - 平島道雄真道別彦之霊神 昭和09・09・20
 - 大重美知子白萩刀自之霊神 令和2・09・21
 - 大重為廣之霊神 昭和24・09・22
 - 汰木節夫之霊神 平成27・09・22
 - 西本ハル子之霊神 平成17・09・25
 - 桐野整之霊神 昭和45・09・28
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんさせていた
き、お礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、
「墓前での玉串の奉てんを準備しています。」

九月二十三日(祝)

十時半より

秋季 霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。

(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

十月二日(土)～三日(日)

御本部

生神金光大神御大祭

参拝

交通機関未定
宿泊先々光風館
旅費未定

【一教会三名までの代表参拝】

《記念祭》 (予定)

- 十月二十四日(日) 川内教会
- 十一月三日(祝) 枕崎教会
- 十一月七日(日) 出水教会
- 十一月二十一日(日) 多良木教会
- 十一月二十三日(祝) 宮之城教会

教会行事

9月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭(生神金光 併せて 霊祭) 10時半
- 20 (祝) 大重家霊祭
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭(天地金 乃神様)
- 23 (祝) ●秋季霊祭 10時半
- 30 (木) 清掃御用 10時

10月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 併せて 教祖ご生誕祭
- 2 (土)～3(日)
- 御本部(生神金光) 御大祭参拝
- 6 (水) 中村家霊祭
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●月例祭(生神金光 併せて 月例霊祭) 10時半
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭(天地金 乃神様) 共励会13時半
- 24 (日) 川内教会70年記念祭
- 31 (日) 清掃御用 10時

2021 令和3年 9月5日(日)

時間 13:00~15:10

オンライン開催

金光教東日本大震災十年祭

スマホやパソコンで聴くことのできるオースメ教話・研修会 (ユーチューブ配信)

「金光教全国信徒会 第三回全国大会」

「金光教世界平和を祈る集い」

「首都圏 女性の集い 講演」

講演 松本峰子先生(浦和教会) (二〇二一年 二月十一日)